

2018年2月期 第3四半期 決算補足資料

イオンディライト株式会社

代表取締役社長 兼 社長執行役員

中山 一平

2018年1月10日

2017年度 第3四半期決算のポイント

業績概要

- グループ経営推進により国内外子会社が牽引 **増収増益、過去最高益を達成**
売上高2,238億円 前年同期比100.4%、営業利益126億円 前年同期比101.6%

主な取り組み

- 自動化や効率化を目的に設備の遠隔監視・自動制御システムの導入、夜間警備の無人化、完全自動走行型清掃ロボットの実用化に向けた検証など、デジタルテクノロジーを活用した次世代型施設管理モデルの構築を推進
- 国内では、ホテル、外資系家具メーカー、総合不動産デベロッパーなどへサービスの提供を開始
- 2017年4月に開業した「永旺永楽(上海)企業管理有限公司」との日中連携により、中国に事業を展開する日系企業をターゲットとしたI F M営業(※)を強化
- 海外では進出各国(中国、マレーシア、ベトナム)で堅調に事業を拡大

※ I F M (インテグレートッド・ファシリティマネジメント)
ファシリティに関するアウトソーシングニーズを統合的に管理運営するサービス

連結損益計算書

グループ経営推進により国内外子会社が牽引 増収増益、過去最高益を達成

	2016年度 第3四半期（構成比）	2017年度 第3四半期（構成比）	増減額	増減率 (億円)
売上高	2,228 (100.0%)	2,238 (100.0%)	9	100.4%
売上総利益	288 (13.0%)	294 (13.1%)	5	101.9%
販売管理費	164 (7.4%)	167 (7.5%)	3	102.0%
営業利益	124 (5.6%)	126 (5.7%)	2	101.6%
経常利益	124 (5.6%)	130 (5.8%)	5	104.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	76 (3.4%)	76 (3.4%)	0	100.2%

セグメント別売上高

5事業で増収 建設施工はセグメント一部組み替えの影響など

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増減率	(億円)
設備管理	380	395	104.0%	
警備	304	325	106.6%	
清掃	400	413	103.3%	
建設施工	366	327	89.4%	
資材	386	378	97.9%	
自販機	245	245	100.2%	
サポート	145	152	105.1%	
合計	2,228	2,238	100.4%	

※ 警備、清掃、建設施工、サポートの各セグメント間で一部組替を実施
(安全カメラ設置 建設施工 ⇒ 警備、廃棄物手数料 サポート ⇒ 清掃)

セグメント別取り組み

設備管理事業

新規受託により収益増。施設のインテリジェント化を目的にセンシング技術を活用した省エネ・省人化モデルの開発に着手

警備事業

省人化を目的に出入管理や巡回警備などのシステム化を推進。労働力確保に向けた職場環境の改善、新制度構築に向けた取り組みを推進

清掃事業

収益性向上を目的に施設毎の特性を踏まえた品質基準作りを継続。清掃資機材の販売や環境に配慮した資機材の導入を推進

建設施工事業

大型商業施設の活性化やテナント入替に伴うリニューアル工事の提案活動を積極化。全国展開する企業の改装工事受託を拡大

資材関連事業

イオンP B商品の包装包材の受託を拡大。収益性の改善を目的に需要予測システムの精度向上や在庫保管費の削減、調達コストの削減等を推進

自動販売機事業

次世代型自販機の拡販に努めると共に、小商圈をターゲットとするマイクロマーケット（職域無人店舗）事業の実用化に向けた検証を推進

サポート事業

前期に受託したI F M業務が寄与。(株)カジタクでは二本柱である家事支援事業と店頭支援事業が共に好調に推移

連結貸借対照表

(億円)

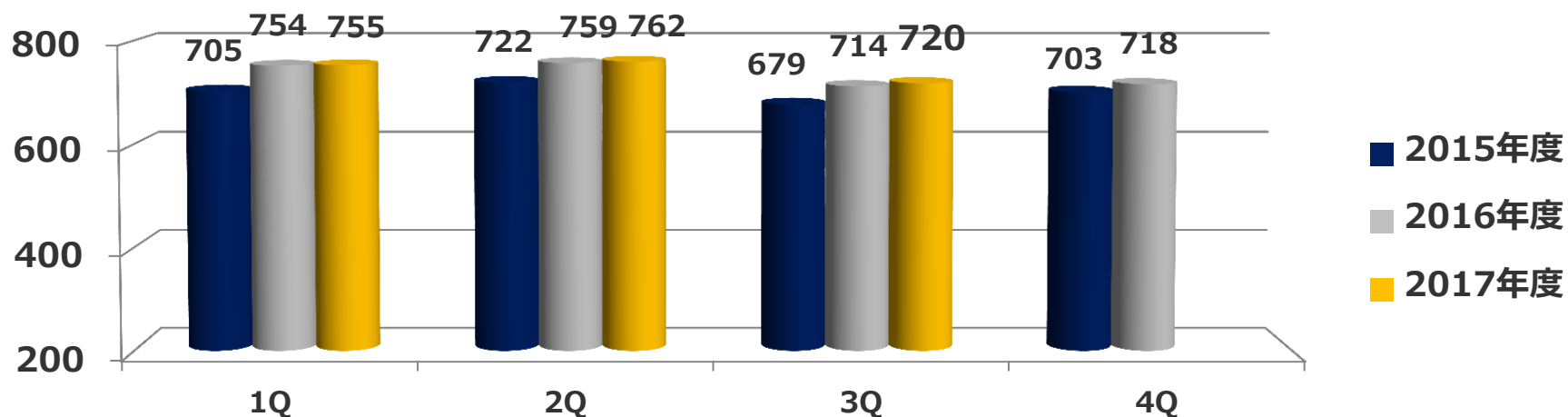
資産の部	2017/2	2017/11	増減額
流動資産	1,124	1,187	63
有形固定資産	90	97	6
無形固定資産	90	82	▲8
投資等	89	85	▲3
固定資産	270	266	▲4
資産合計	1,395	1,453	58

負債・純資産の部	2017/2	2017/11	増減額
流動負債	440	447	7
固定負債	33	30	▲3
負債合計	474	478	4
株主資本	885	932	47
純資産合計	920	975	54
負債・純資産合計	1,395	1,453	58

過去3カ年の四半期推移：売上高

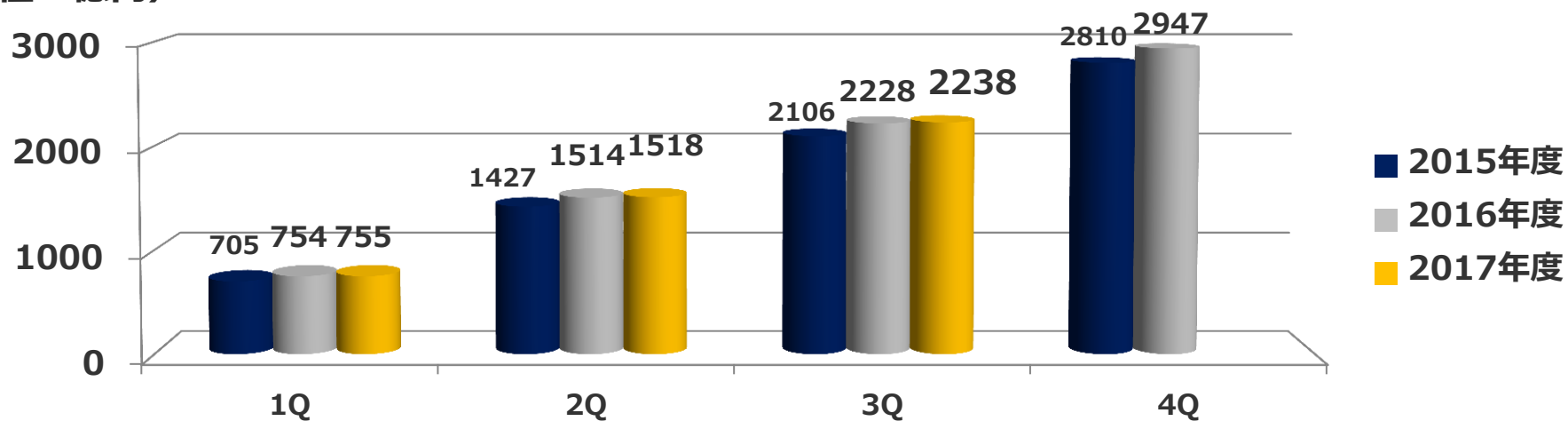
(単位：億円)

四半期 期間売上高推移



(単位：億円)

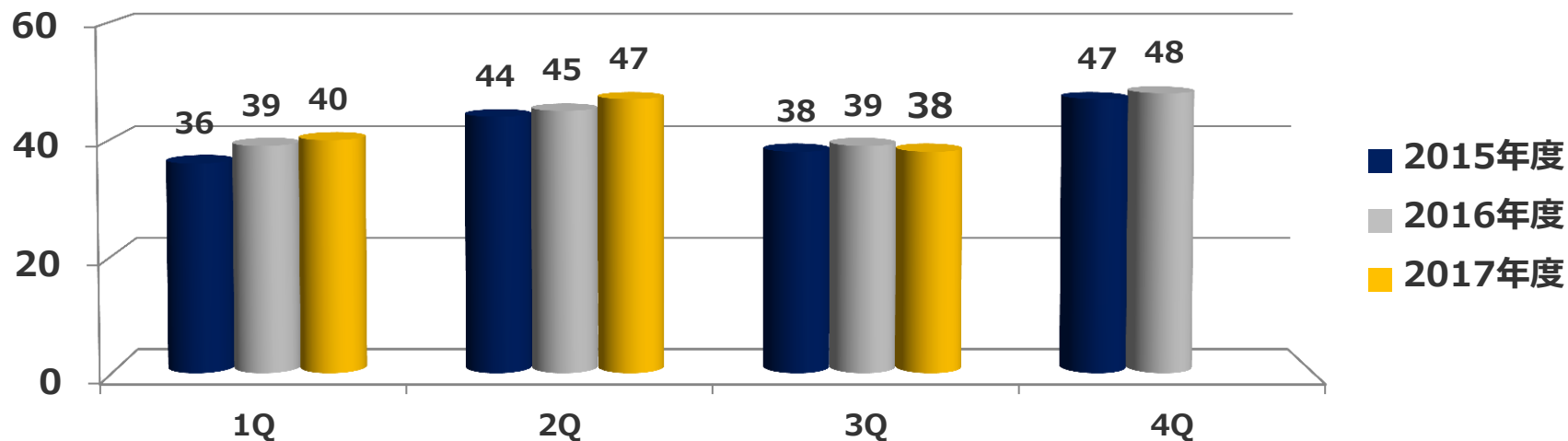
四半期 累計売上高推移



過去3カ年の四半期推移：営業利益

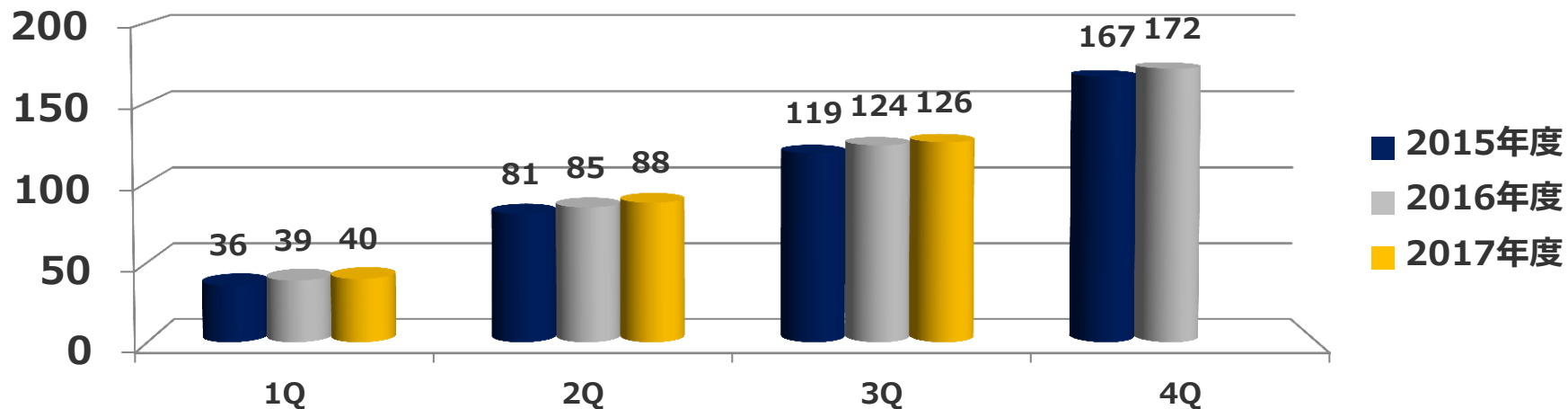
(単位：億円)

四半期 期間営業利益推移



(単位：億円)

四半期 累計営業利益推移





(参考) 2018年2月期の取り組み

- ① I F Mモデルのアジア展開
- ② エリア別トップライン拡大策
- ③ テクノロジーの活用
- ④ 改装工事受託の拡大
- ⑤ 「働き方改革」組織力の強化

① I F Mモデルのアジア展開

日中で I F Mモデルを展開



営業体制の強化

上海に I F M営業拠点を開設

I F M業務の I T化

作業工程の実測、
レポーティング・システム
の開発・導入を推し進める

② エリア別トップライン拡大策

国内

- ・ 業態別（病院、ホテル、オフィスなど）営業体制の強化
- ・ 工事（商業施設の活性化、オフィスレイアウトなど）受託の拡大

中国

- ・ 重点5大マーケットでの受託拡大
- ・ A D江蘇：再開発エリアでのF M業務の集中的な受託
- ・ 武漢小竹：ニーズの高いケータリング事業の展開

※ 重点攻略5大マーケット

- ① 中高級レジデンス ② 中高級ショッピングセンター
③ 養老院、病院、介護施設④ ハイエンド工場 ⑤ 交通インフラ施設

アセアン

- ・ マレーシア：マーケットの大きな設備管理事業を本格スタート
- ・ ベトナム：設備管理、清掃、警備の品質向上、総合管理受託の拡大

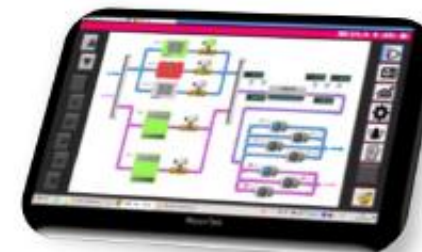
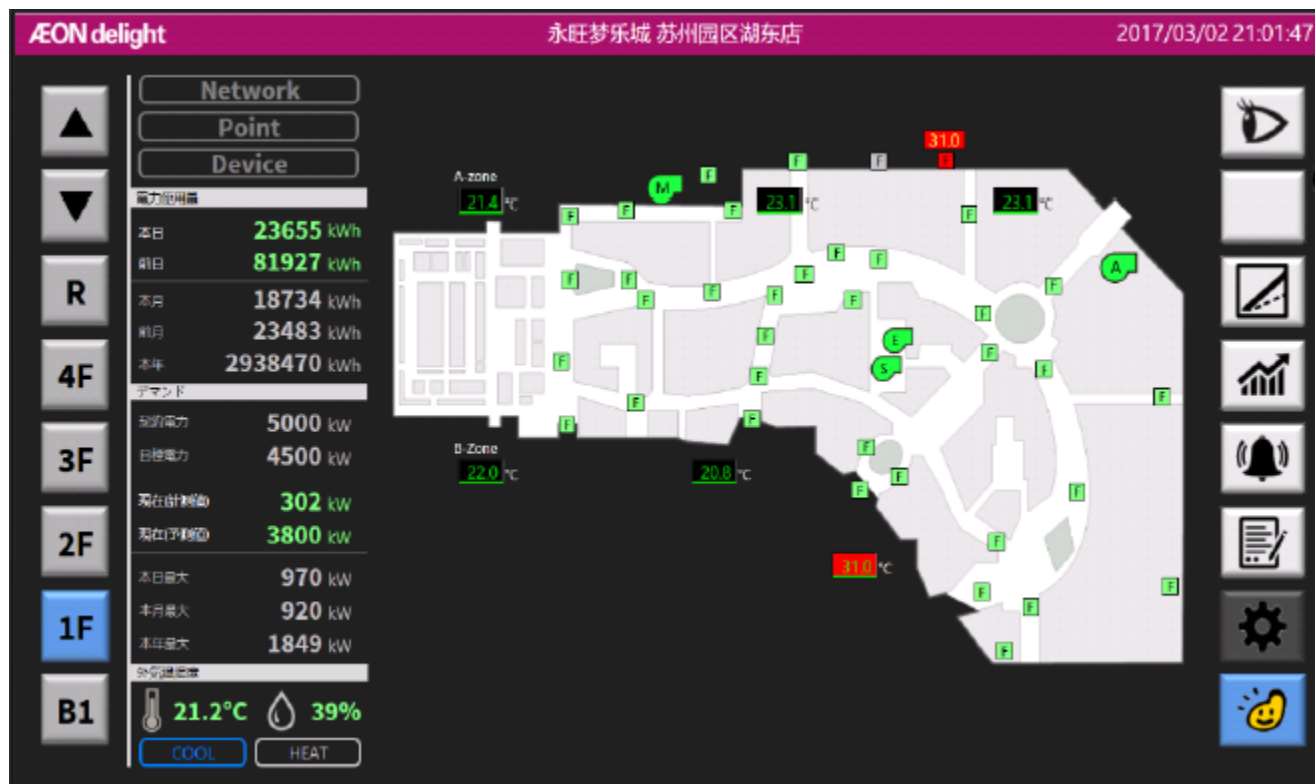
③ テクノロジーの活用

施設のインテリジェント化

【フェーズ1】

オープンネットワーク化による省エネ自動制御化

イオンモール蘇州園區に導入



④ 改装工事受託の拡大 ～商業施設テナント入替工事の工程～

デザイン・設計からアフターメンテナンスまでトータルサポート

退店工事

01

仮囲い
工事

02

原状回復
工事
区画分割

03

仮囲い工事・
原状回復に伴う
周辺対応

2016年度実績

活性化工事 **210件**

仮囲い・原状回復・リニューアル

2,843件

入店工事

04

事前調査

05

開発計画

06

企画
デザイン

07

設計・施工
区画分割
原状回復工事

08

内装監理

09

施工/監理

10

引き渡し

11

アフター
メンテナンス

12

設備管理
清掃
警備



⑤ 「働き方改革」 組織力の強化



社内SNSにより提案力コンテスト
を仕組み化「**FM-1 グランプリ**」
各現場の好事例を投稿・共有・評価

2016年度は

総計 **1,186** 件のアイデアが集結



■ 取り組み発表会



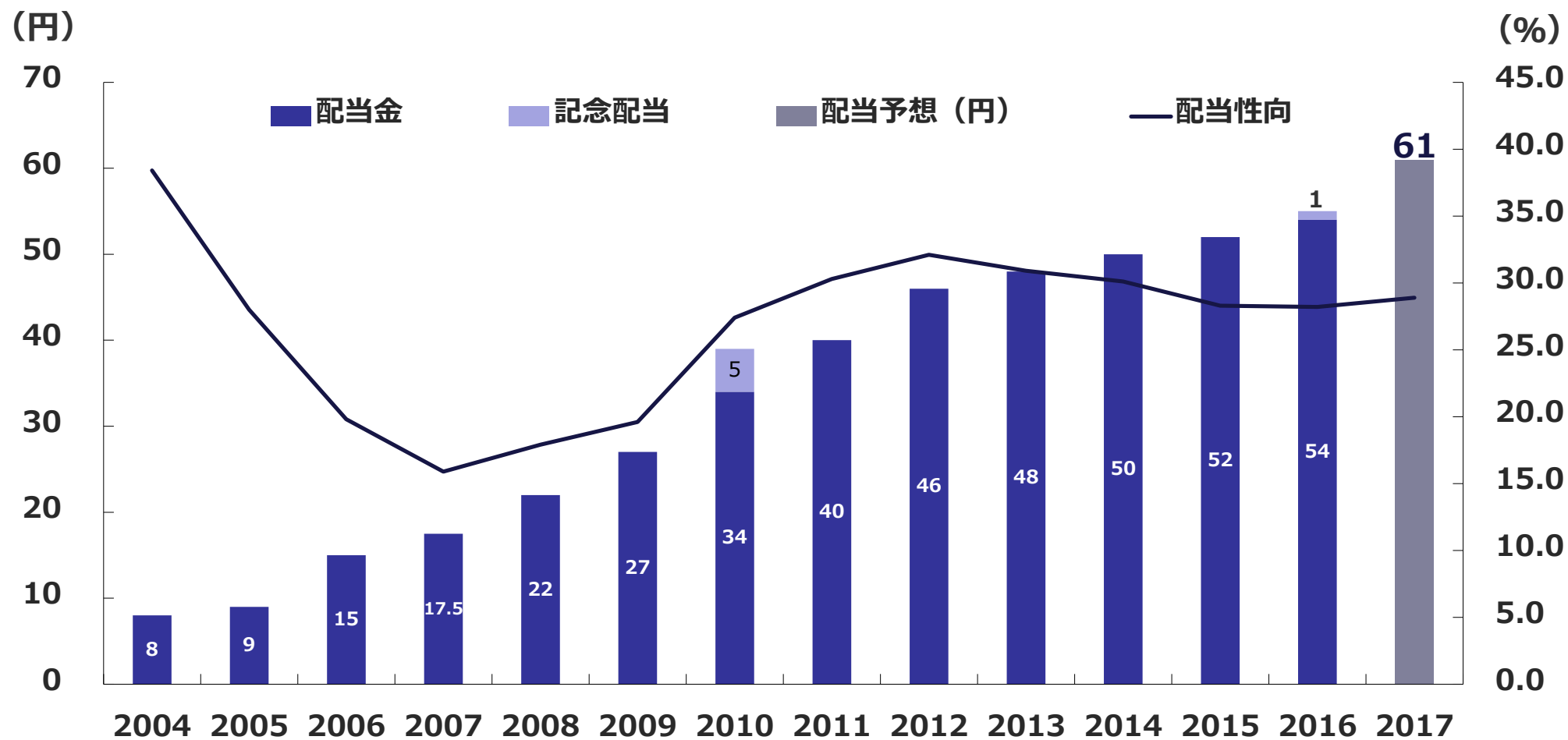
清掃現場におけるクリーンクルー主体
の改善活動「**働きやすさ追求活動**」
2年目を迎え、
国内からアジアへエリアを拡大

2017年度の業績見通し

(億円)	2016年度実績 (構成比)		2017年度予想 (構成比)		増減率
売上高	2,947 (100.0%)		3,050 (100.0%)		103.5%
営業利益	172	(5.9%)	180	(5.9%)	104.3%
経常利益	173	(5.9%)	180	(5.9%)	103.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	102	(3.5%)	107	(3.5%)	104.5%

株主還元

2005年度以降、12期連続増配中。13期連続の増配を目指します



ご意見・ご質問につきましては、下記をお願いいたします。

- この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ◇ これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定に基づく見込みです。そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。
- 資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。
 - ◇ 全て連結を対象として記載
 - ◇ 記載金額は億円未満を切り捨て
 - ◇ 比率は小数点第2位を四捨五入

イオンディライト株式会社
(証券コード：9787)

IR担当連絡先 部署名：グループ戦略本部
責任者名：京本 明志
TEL 043-351-2563
又は、ホームページよりお問い合わせください。
<http://www.aeondelight.co.jp>

本資料の内容につきましては公表日（2018年1月10日）までに入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。